



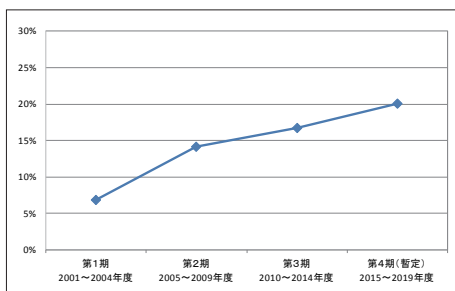
産総研におけるダイバーシティの推進

個人の能力を最大限に発揮できる環境の実現を目指して

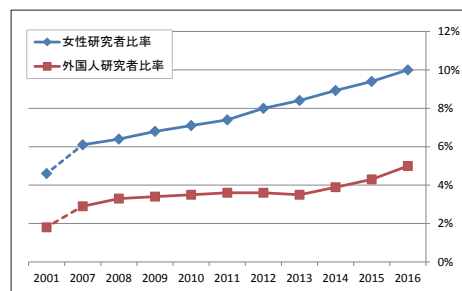
産総研のミッションである「オープンイノベーションハブ機能の強化」のためには多様な人材の活用、すなわちダイバーシティが不可欠です。産総研では、性別・年齢・国籍などにかかわらず、職員ひとりひとりが多様性を活かして個人の能力を発揮できる環境の実現を目指し、ダイバーシティ推進策を定め、女性研究者の積極的な採用・活躍推進、外国人研究者支援、ワーク・ライフ・バランスの実現、キャリア形成、国・自治体および他の研究教育機関との連携などを進めています。



理事
富樫 茂子



女性研究者採用比率の目標期間ごとの推移 (2016.4.1 現在)



女性研究者および外国人研究者比率の推移 (各年度 4.1 時点)

【ダイバーシティ推進の取り組み】

女性研究者の積極的な採用・活躍推進

ダイバーシティ推進のため、産総研では女性研究職員の採用目標を定め、優秀な女性研究者の発掘と積極的な採用を進めています。第4期中長期目標期間(2015-2019年度)においては、研究職における累積採用者の女性比率を18%以上とする目標に向けて、理系女子学生に向けたラボツアーや懇談会の企画・開催や、大学・学会の就職関連イベントへの参加、学生に向けたパンフレットの配布などを通じ、産総研が女性にとって働きやすい職場であることを積極的にアピールしています。

外国人研究者支援

多様なバックグラウンドを持った人材の受け入れと活躍推進のため、優秀な外国人研究者の積極的な採用と支援に取り組んでいます。AIST国際センター(AIC)では、外国人研究者の生活や滞在の支援とともに、情報交換や交流の場の提供など支援を広げ、産総研での活躍を支えています。2015年度からは、各担当部署と連携し英語による所内業務説明会の開催や、外国人向けの情報発信(メルマガの発行)を行っています。

ワーク・ライフ・バランスの実現

産総研は、仕事と育児・介護を両立しやすい職場環境の整備に取り組んでいます。2015年度からは、産総研の育児・介護制度のさらなる普及を目的としたリーフレットを作成し、地域の各研究拠点でキャリア形成などのイベントと併せて制度説明会を行っています。また、仕事と育児の両立を促進することを目的とした在宅勤務を試行的に行っています。

キャリア形成

ロールモデル(規範となる先輩)の提示やエンカレッジング研修の開催などにより、職員のキャリア形成の支援を行っています。また、キャリアカウンセリングなどの各種相談制度により、利用者が適切なアドバイスを得ることができる体制を整えています。

国、自治体および他の研究教育機関との連携

国内の19の研究教育機関が参画しているダイバーシティ・サポート・オフィス(DSO)の会長機関として、定期的な情報交換の場を設けて連携を進めています。このような取り組みは外部機関からも評価されています。



● Diversity and Equal Opportunity Office, General Affairs Headquarters

総務本部 **ダイバーシティ推進室**

イノベーションの創出はダイバーシティ推進から

URL : <https://unit.aist.go.jp/diversity/>

E-mail : diversity-web-ml@aist.go.jp

TEL : 029-862-6418 FAX : 029-862-6882

【概要】

ダイバーシティ推進室は、産総研において、職員ひとりひとりが性別・年齢・国籍などにかかわらず、個人の能力を発揮できる環境の実現を目指し、女性および外国人研究者の積極的な採用と活躍の支援、ワーク・ライフ・バランスの実現、キャリア形成など、多様性の活用(ダイバーシティ)を総合的に推進しています。



【室長】
井出 ゆかり